

令和8年度 年間授業計画

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）
	補助教材：	最新 生活ハンドブック 資料&成分表（第一学習社）

教科（ 家庭科 ）の目標

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目（ 家庭基礎 ）の目標

【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家族や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数			
1 学 期	単元	生涯の生活設計	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			2			
	知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○				
	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。	生涯の生活設計	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。							
	思考力、判断力、表現力等	教材 教科書・副教材等	思考・判断・表現 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。							
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度							
	・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組む態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組む態度を育んでいる。							
	単元	青年期の自立と家族・家庭	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。		
	知識及び技能	指導事項	知識・技能					○	○	○
	・生涯発達視点から各ライフステージの特徴と課題について理解する。 ・家族・家庭の機能と家族関係、法律について理解する。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する。	人の一生、家族・家庭、これからの家庭生活と社会	・生涯発達視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 ・家族・家庭の機能と家族関係、法律について理解している。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。							
	思考力、判断力、表現力等	教材 教科書・副教材等	思考・判断・表現 ・家庭や地域によりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見だし、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。							
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度							
	・青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育んでいる。							
単元	高齢者の生活と福祉	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。							
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○					
・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する。 ・高齢期の心身の特徴、自立生活の支援や介護について理解する。 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 ・高齢者福祉について理解する。	高齢期の心身の特徴、経済的な課題と制度、超高齢社会	・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。 ・高齢期の心身の特徴、自立生活の支援や介護について理解している。 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 ・高齢者福祉について理解している。								
思考力、判断力、表現力等	教材 教科書・副教材等	思考・判断・表現 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。								
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度								
・高齢者の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・高齢者の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育んでいる。								
定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○			

令和8年度 年間授業計画 科目（家庭基礎）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 食生活と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	16
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	・おいしさの構成要素について理解する。 ・食品の調理上の性質、食品衛生について理解する。 ・目的に応じた調理に必要な技術を身に付ける。	食生活の課題、栄養、食事計画、食文化、これからの食生活	・おいしさの構成要素について理解している。 ・食品の調理上の性質、食品衛生について理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技術を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	教科書・副教材等	・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
・食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育んでいる。					
単元 住生活と住環境	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4	
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解する。 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。 ・適切な住居の計画・管理について必要な技術を身に付ける。	住生活の変遷と住居の機能、安全で快適な住生活の計画、住生活の文化と知恵、これからの住生活	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理について必要な技術を身に付けている。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
・防災などの安全や環境について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	教科書・副教材等	・防災などの安全や環境について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
・住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育んでいる。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○		2

令和8年度 年間授業計画 科目（家庭基礎）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記号時数			
3 学 期	単元	ホームプロジェクトと学校クラブ活動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。						
	知識及び技能	指導事項	知識・技能							
	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。						
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現							
	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。		教科書・副教材等	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。			○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度							
	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。		課題提出、調べ学習	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。						
	単元	共生社会と福祉	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。						
	知識及び技能	指導事項	知識・技能							
	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ・生活をよりよくするために何が必要か、理解を深める。		生活と福祉、社会保障の考え方、共に生きる	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・生活をよりよくするために何が必要か、理解を深めている。						
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現							
	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。		教科書・副教材等	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。			○	○	○	2
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度								
・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。		課題提出、調べ学習	・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。							
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○		2			
合計							70			